Ⅳ．「キャッシュ・フロー計算書」注記

⑴　資金の期末残高の貸借対照表科目別の内訳

現金及び預金	3,927,176,529円
資金期末残高	3,927,176,529円

⑵　重要な非資金取引

①　寄附による資産の増加

建物	96,426,632円
構築物	5,845,837円
工具器具備品	112,751,294円
図書	12,556,296円
計	227,580,059円

②　ファイナンスリースによる資産の取得

工具器具備品	12,357,319円

Ⅴ．「国立大学法人等業務実施コスト計算書」注記

国及び地方公共団体からの出向者にかかる退職給付当期増加見積額

該当者員数　100名

上記該当者に係る退職給付当期増加見積額　931,646,774円

Ⅵ．「減損」注記

１．減損を認識した固定資産に関する事項

⑴　減損を認識した固定資産の用途、種類、場所、帳簿価額等の概要

単位：円

減損を認識した固定資産	用　途	種　　類	場　　所	帳簿価額（平成20年度末帳簿価額）
緑ケ丘宿舎１号棟から４号棟	福利厚生用	建物、建物附属設備	盛岡市	7
緑ケ丘宿舎１号棟から４号棟附設物置（１～４番用）	福利厚生用	建物	盛岡市	8
農学部動物焼却炉	教育用	建物	盛岡市	1
焼却炉	教育用	建物附属設備	盛岡市	1
合　　計				17

⑵　減損の認識に至った経緯

緑ケ丘宿舎１号棟から４号棟（建物附属設備）及び緑ケ丘宿舎１号棟から４号棟附設物置（１～４番用）については、岩手大学が今後使用をしないことを決定しており、減損会計基準「第４　減損の認識」第１項⑴に該当し、減損を認識することになる。同じく、農学部動物焼却炉及び建物附属設備については、岩手大学が取りこわしの決定を行っており、減損会計基準「第４　減損の認識」第１項⑴に該当し、減損を認識することになる。なお、中期計画等で想定された業務運営は行っているものである。

⑶　減損額のうち損益計算書に計上した金額と計上していない金額の主要な固定資産ごとの内訳

単位：円

減損を認識した固定資産	損益計算書に計上した金額	損益計算書に計上していない金額	備考
緑ケ丘宿舎１号棟から４号棟	—	2,295,530	
緑ケ丘宿舎１号棟から４号棟附設物置（１～４番用）	—	480,832	
農学部動物焼却炉	—	17,947,556	
焼却炉	—	21,247,947	
合　　計	—	41,971,865	

⑷　減損の兆候の有無について、「第３　減損の兆候」３に基づき、複数の固定資産を一体として判定した当該資産の概要及び当該資産が一体としてそのサービスを提供するものと認めた理由

建物である緑ケ丘宿舎１号棟から４号棟に附帯している建物附属設備である給水設備等が一体として使用されているため。

⑸　回収可能サービス価額が、正味売却価額である旨及び算定方法の概要

緑ケ丘宿舎１号棟から４号棟（建物附属設備）及び緑ケ丘宿舎１号棟から４号棟附設物置（１～４番用）については、正味売却額とした。算定方法については、建物附属設備を含め、取りこわし等の予定のため資産価値なしとみなし、１円とした。農学部動物焼却炉及び建物附属設備については、正味売却額とした。算定方法については、完全に取りこわすため資産価値なしとみなし、１円とした。

２．減損の兆候が認められた固定資産（減損を認識した場合を除く）に関する事項

⑴　減損の兆候が認められた固定資産の用途、種類、場所、帳簿価額等の概要

減損の兆候が認められた固定資産		用　途	種　　類	場　　所	帳簿価額（平成20年度末帳簿価額）
1	緑ケ丘宿舎㈡	敷地	土地	盛岡市	96,400,000
2	自啓寮	寄宿舎	建物	盛岡市	31,387,848
3	同袍寮	寄宿舎	建物	盛岡市	43,052,267
4	自啓・同胞寮食堂兼集会室	寄宿舎	建物	盛岡市	21,520,908
合　　計					192,361,023

⑵　認められた減損の兆候の概要

１については今後使用をしないことを決定しており、減損会計基準「第３　減損の兆候」第２項⑸に該当し、減損を認識することになる。

２～４については稼働率が業務実績に比べ、50%以上低下していることから、減損会計基準「第３　減損の兆候」第２項⑴に該当し、減損の兆候が認められる。

なお、中期計画等で想定された業務運営は行っているものである。

⑶　「第４　減損の認識」２に掲げる要件を満たしている根拠又は固定資産の市場価額の回復の見込みがあると認められる根拠

１については、売却目的で保有し売却益等の有効活用策を計画しており、減損を認識しない。

２～４については、入居者数は減少しているものの、その全部について、使用する合理的な使用計画を有し、保守管理も計画的に行われており、今後の使用が見込まれるため減損を認識しない。